

葛飾区保健医療実態調査 概要版

調査の目的

令和6年度に改定予定の「かつしか健康実現プラン」の基礎資料として、区民の栄養、食生活、健康状態及び運動等の実態を把握するため、調査を実施しました。

また、区内の事業所の健康経営の取組状況等を把握し、働く世代の健康づくり支援に繋げるため、区内事業所に初めて調査を実施しました。

調査の設計・回答状況

	区民向け調査	事業所向け調査
調査時期	令和5年7月13日～8月4日	
調査対象	満18歳以上の区民2,400人	従業員10人以上の事業所700事業所
調査方法	郵送配布、郵送またはインターネットによる回答	
有効回答数 (回答率)	991 (41.3%)	350 (50.0%)

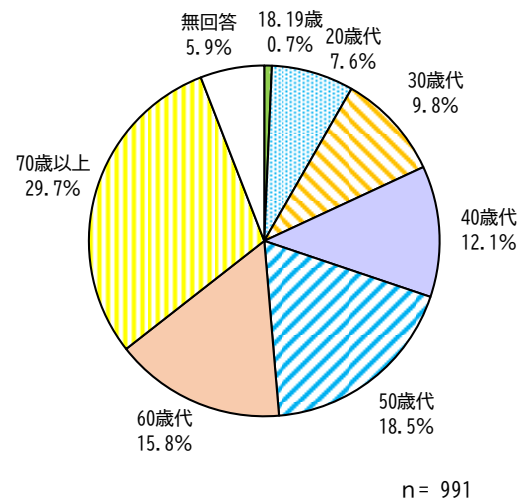
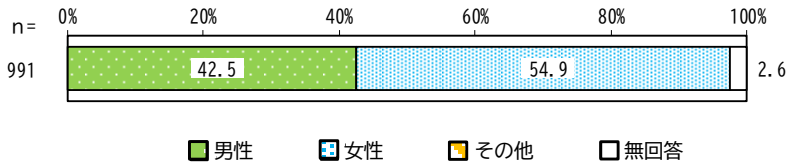
調査回答者・事業所の属性

区民向け調査

【年代・性別】

年代は、「70歳以上」の割合が29.7%と最も高く、次いで、「50歳代」の割合が18.5%、「60歳代」の割合が15.8%となっています。

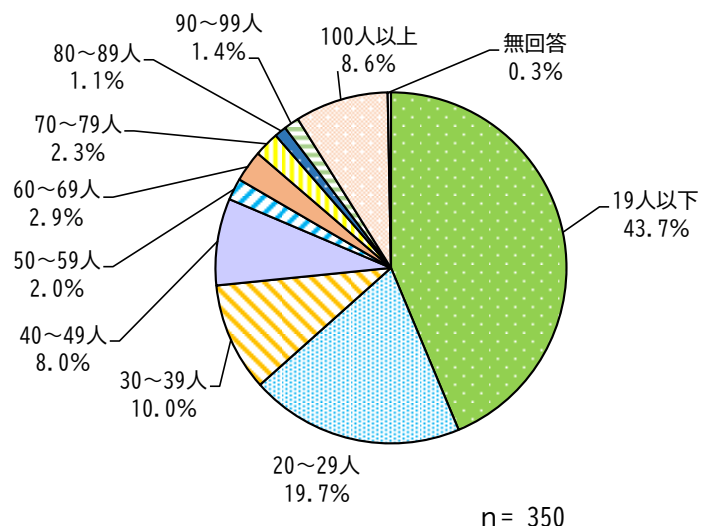
性別は、「男性」の割合が42.5%、「女性」の割合が54.9%となっています。



事業所向け調査

【従業員数】

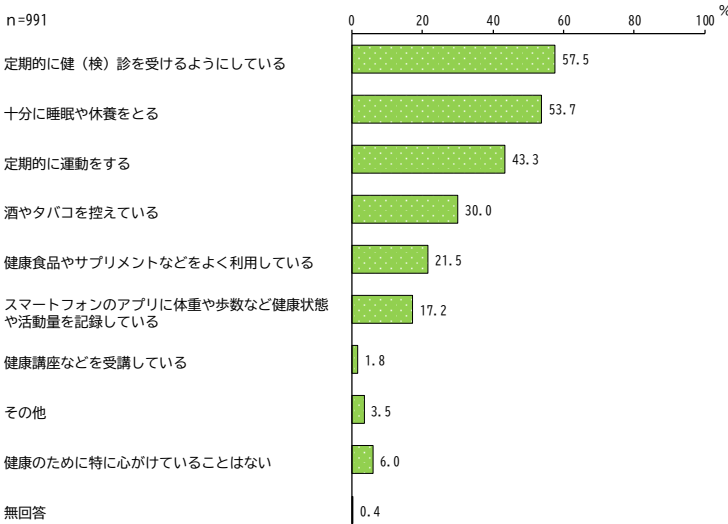
「19人以下」の割合が43.7%と最も高く、次いで「20～29人」の割合が19.7%、「30～39人」の割合が10.0%となっています。



区民向け調査

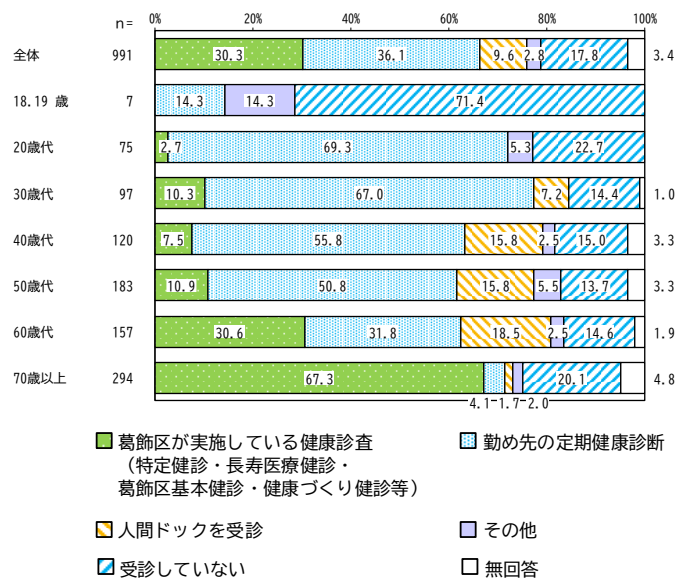
健康づくりの取組状況 (本編 P8)

「定期的に健(検)診を受けるようにしている」の割合が57.5%と最も高く、次いで「十分に睡眠や休養をとる」の割合が53.7%、「定期的に運動をする」の割合が43.3%となっています。



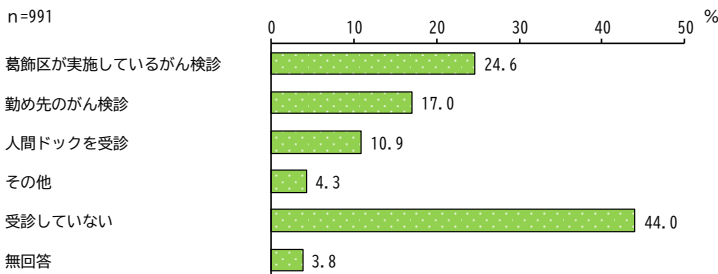
受診した健康診査の種類 (本編 P23)

年代別でみると、70歳以上で「葛飾区が実施している健康診査(特定健診・長寿医療健診・葛飾区基本健診・健康づくり健診等)」の割合が高くなっています。



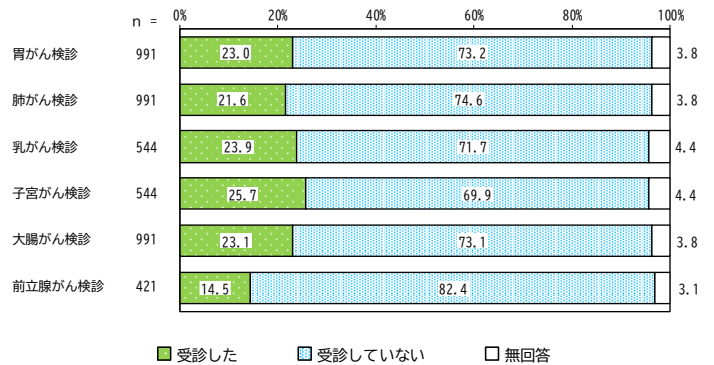
がん検診の受診状況 (本編 P29)

「葛飾区が実施しているがん検診」の割合が24.6%、「勤め先のがん検診」の割合が17.0%となっています。



がん検診の種類別の受診状況 (本編 P34)

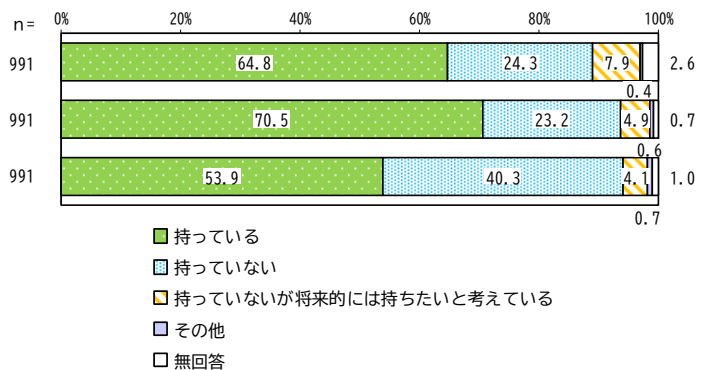
「受診した」の割合が、「子宮がん検診」で25.7%と最も高く、次いで「乳がん検診」で23.9%、「大腸がん検診」で23.1%となっています。



かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の状況 (本編 P36~44)

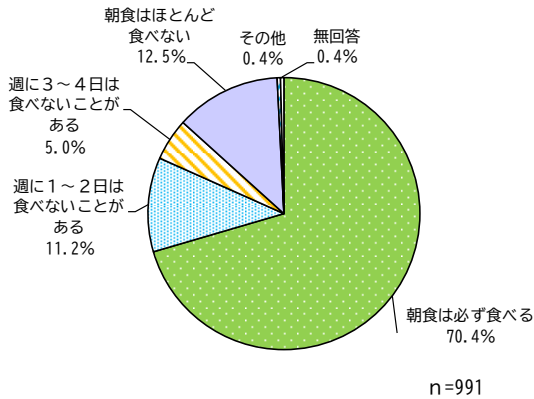
かかりつけ医を「持っている」の割合が64.8%、かかりつけ歯科医を「持っている」の割合が70.5%、かかりつけ薬局を「持っている」の割合が53.9%となっています。

かかりつけ医
かかりつけ歯科医
かかりつけ薬局



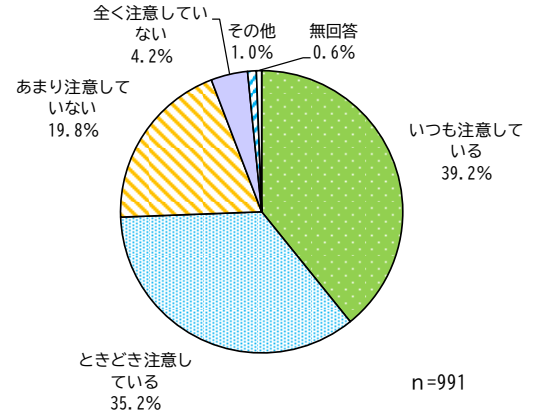
■ 朝食の摂取状況 (本編 P45)

「朝食は必ず食べる」の割合が70.4%と最も高く、次いで「朝食はほとんど食べない」の割合が12.5%、「週に1～2日は食べないことがある」の割合が11.2%となっています。



■ 栄養バランスの配慮 (本編 P49)

「いつも注意している」の割合が39.2%と最も高く、次いで「ときどき注意している」の割合が35.2%、「あまり注意していない」の割合が19.8%となっています。



■ BMIについて (本編 P66～71)

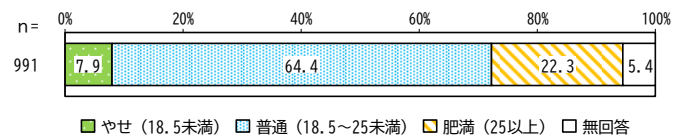
BMIとはBody Mass Indexの略で、世界共通の肥満度の指標です。身長と体重からBMIを求め、国では18.5未満を「やせ」、18.5以上25未満を「普通」、25以上を「肥満」と分類しています。

全年齢のBMIにおいては、「普通(18.5～25未満)」の割合が64.4%と最も高く、次いで「肥満(25以上)」の割合が22.3%となっています。

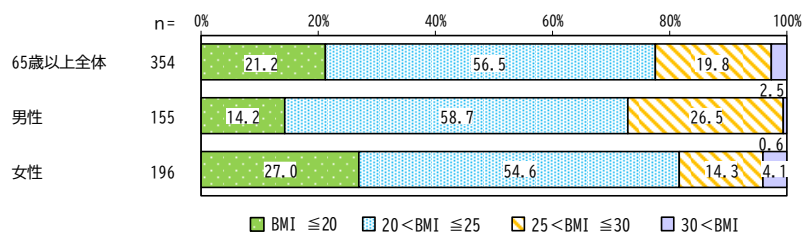
一方、高齢者(65歳以上)では、BMI20以下は低栄養傾向にあると考えられています。性別でみると、女性で「BMI≤20」の割合が高くなっています。

$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

【全年齢のBMI】

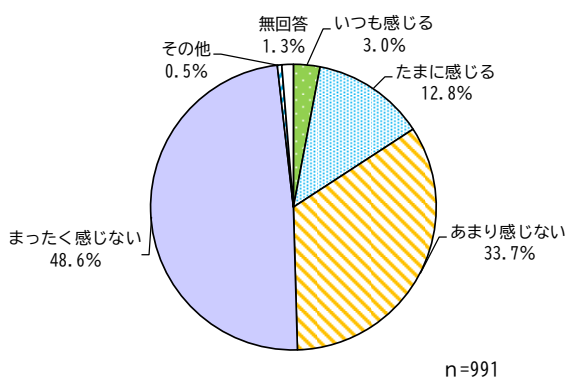


【高齢者 (65歳以上) のBMI】



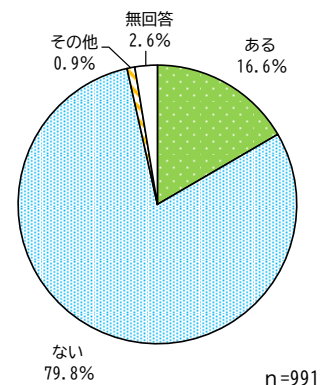
■ 「自分の居場所がない」と感じるか (本編 P102)

「まったく感じない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が33.7%、「たまに感じる」の割合が12.8%となっています。



■ 自殺を考えたことがあるか (本編 P126)

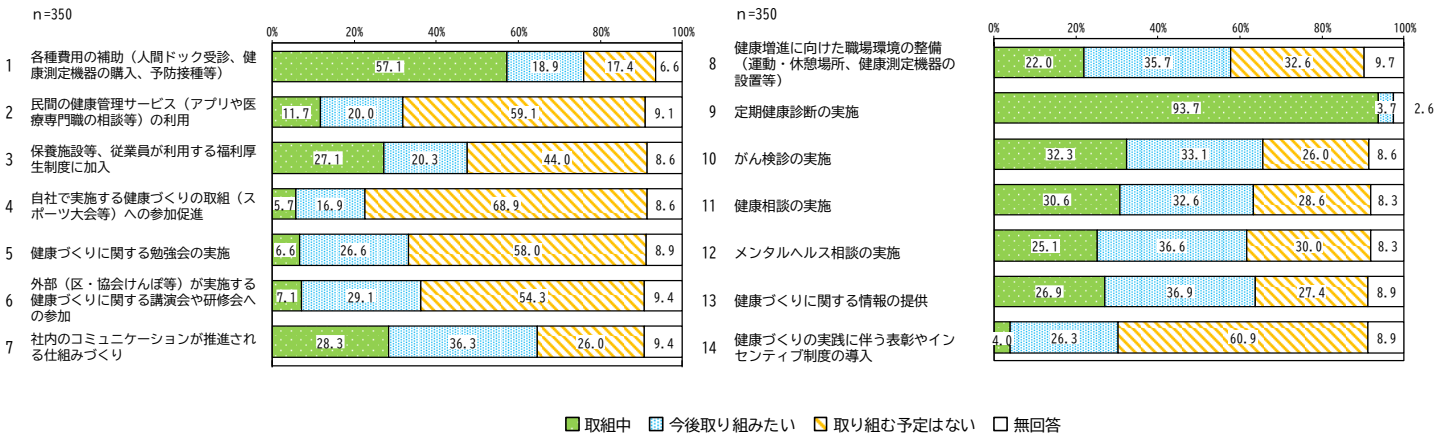
「ある」の割合が16.6%、「ない」の割合が79.8%となっています。



事業所向け調査

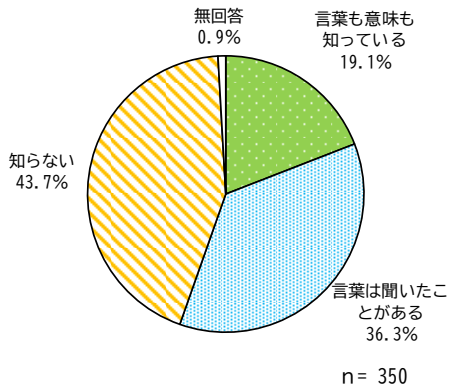
事業所における健康づくりの取組状況（本編 P161）

「取組中」の割合が「9 定期健康診断の実施」で 93.7%と最も高く、次いで「1 各種費用の補助（人間ドック受診、健康測定機器の購入、予防接種等）」で 57.1%、「10 がん検診の実施」で 32.3%となっています。



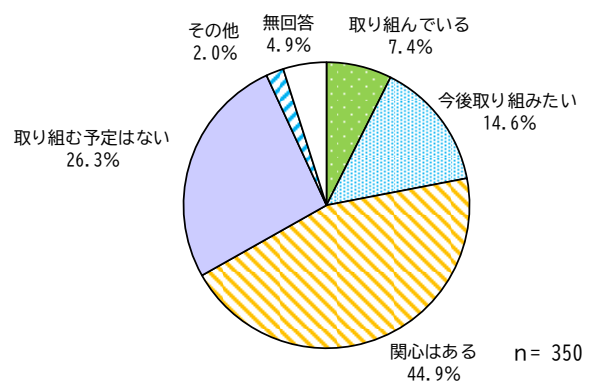
健康経営の認知度（本編 P184）

「知らない」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が 36.3%、「言葉も意味も知っている」の割合が 19.1%となっています。



健康経営の取組状況（本編 P186）

「取り組んでいる」の割合が 7.4%となっています。「関心はある」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「取り組む予定はない」の割合が 26.3%、「今後取り組みたい」の割合が 14.6%となっています。



必要な区の支援（本編 P188）

「補助金、助成金」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「健康に関する情報提供」の割合が 32.0%、「取組事例の紹介」の割合が 24.0%となっています。

